

前回の米大統領選でトランプ氏当選の原動力となったラストベルト(さびた工業地帯)。開票が続く、民主党のバイデン前副大統領が中西部ミシガン州とウィスコンシン州を奪還するなど、再び勝敗の鍵を握っている。

Q ラストベルトとは、どんな場所ですか。

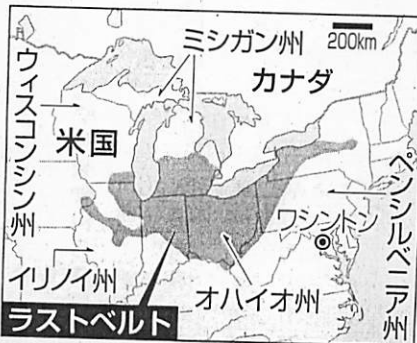
A ペンシルベニア、オハイオ、ミシガン、イリノイ、ウィスコンシン州など、東部から中西部にまたがる地域です。産出する石炭や五大湖の水運を生かして鉄鋼や自動車産業が発展しましたが、工場の国外移転で空洞化が進みました。住人の多くは白人労働者です。

Q なぜ重要なのですか。

A 元々は民主党支持の労働組合の影響力が強く、党のシンボルカラーから「青い壁」と呼

Q&A 米大統領選 鍵握る「ラストベルト」

産業衰退、工場国外移転で空洞化



ばれました。ところが2016年の前回選挙では、共和党のトランプ大統領がイリノイ州を除いてほぼ制し、当選に道を開きました。

Q この地域での勝因は何だったのですか。

A ラストベルトに狙いを定め、規制撤廃による産業復興や雇用創出を約束し、不満を募らせていた白人労働者の支持をつかみました。ペンシルベニア州

での共和党の勝利は1988年以来でした。民主党候補だったクリントン元国務長官は支持が盤石だとみなしたウィスコンシン州を遊説先から外しました。

Q トランプ政権下の経済はどうでしたか。

A トランプ氏は輸入鉄鋼に追加関税を課し、日本に自動車への高関税をちらつかせるなど、保護主義的でラストベルトの主要産業には有利に見える通商政策を進めました。しかし新型コロナウイルスの影響で全国的に経済が沈滞する中、この地域の雇用環境も急速に悪化しています。

Q 今回の選挙は。

A 米メディアによると、トランプ氏はオハイオ州を死守し、一方の民主党のバイデン前副大統領はミシガン州などを奪還しました。(共同)

11月6日 金曜日 神戸新聞分

そろそろ大統領選挙も終息を迎えると思いますが
何故このラストベルトが重要か。日本の経済を学ぶには
世界の経済状況・政治を知ることも。
この地帯は古きアメリカを支えた 強きアメリカの象徴的な
地域だったので、